TOSHIBA
Leading Innovation >>>

3 映像と音楽を楽しもう

CD/DVD/ブルーレイディスクの使いかた

dynabook

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
本書は次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する操作を示します。 「＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
▼＊＊＊＊のみ ▲＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する記述の範囲を示します。 「＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合…『　』 パソコンで見るマニュアルなどへの参照の場合…《　》 《パソコンで見るマニュアル（検索）：XXXX》と書いている場合、《パソコンで見るマニュアル》の［キーワード検索］に「XXXX」を入力すると、目的のページを検索できます。 パソコンで見るマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

WindowsまたはWindows 7

特に説明がない場合は、Windows® 7 Home Premiumを示します。

パソコンで見るマニュアル

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアル「パソコンで見るマニュアル」を示します。
デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリック→［パソコンで見るマニュアル］タブの［パソコンで見るマニュアルTOP］ボタンをクリックして起動します。

ドライブ

ブルーレイディスクドライブ／DVDスーパーマルチドライブを示します。内蔵しているドライブはモデルによって異なります。

参照 詳細について『いろいろな機能を使おう』

ブルーレイディスクドライブモデル

ブルーレイディスクドライブを内蔵しているモデルを示します。

DVDスーパーマルチドライブモデル

DVDスーパーマルチドライブを内蔵しているモデルを示します。

BD

ブルーレイディスクを示します。

HDMI端子モデル

HDMI出力端子を内蔵しているモデルを示します。

Core 2 モデル

インテル® Core™ 2 Duo プロセッサーを内蔵しているモデルを示します。

TXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「TX」で始まるモデルを示します。

AXWシリーズ

dynabook Satelliteシリーズで、モデル名が「AXW」で始まるモデルを示します。

EXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「EX」で始まるモデルを示します。

BXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「BX」で始まるモデルを示します。

PXWシリーズ

dynabook Satelliteシリーズで、モデル名が「PXW」で始まるモデルを示します。

CXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「CX」で始まるモデルを示します。

CXWシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「CXW」で始まるモデルを示します。

NXシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「NX」で始まるモデルを示します。

NXWシリーズ

dynabookシリーズで、モデル名が「NXW」で始まるモデルを示します。

ご購入のモデルの仕様については、別紙の『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Aeroは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- CyberLink、SoftDMAは、CyberLink Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Corel、Corelロゴ、Ulead、Uleadロゴ、DVD MovieWriter、およびWinDVDは、カナダ、米国および／またはその他の国におけるCorel Corporationsおよび／またはその関連会社の商標または登録商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- HDMIおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- おたすけナビは、株式会社東芝の商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 バックアップについて

ハードディスクや記録メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや記録メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
バックアップについて、詳しくは『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

8 ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

9 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。

- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2009年8月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

役立つ操作集

「東芝サービスステーション」

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するソフトウェアです。

「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

参照 「東芝サービスステーション」について『準備しよう 1章 3 Windowsを使えるようにする』

10 [ユーザー アカウント制御]画面について

操作の途中で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。

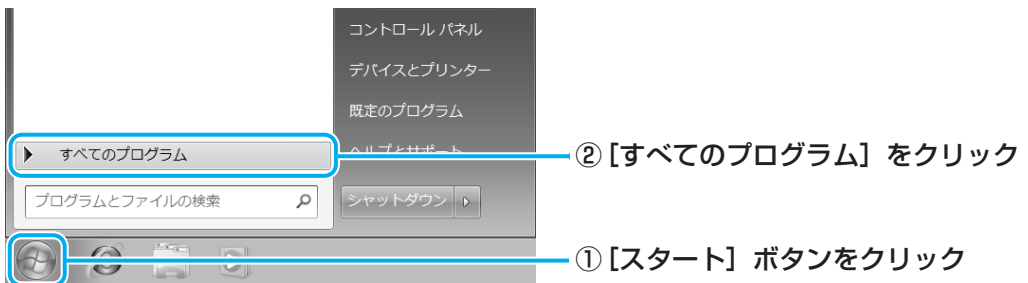
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

11 アプリケーションの起動について

本書では、アプリケーションの起動手順の記載を簡略化して次のように記載しています。

❏「メモ帳」を起動する場合の例

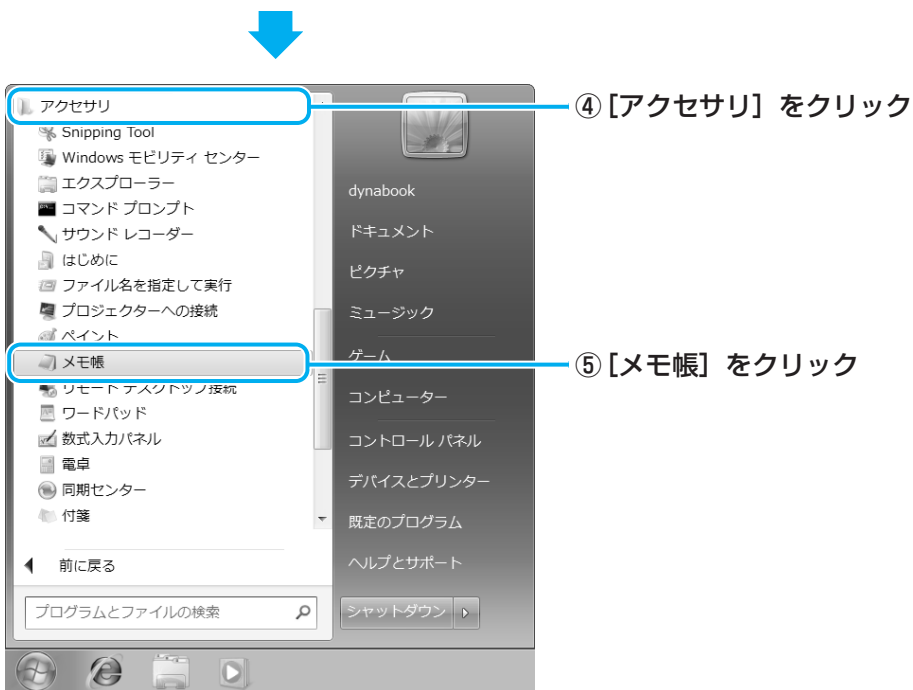
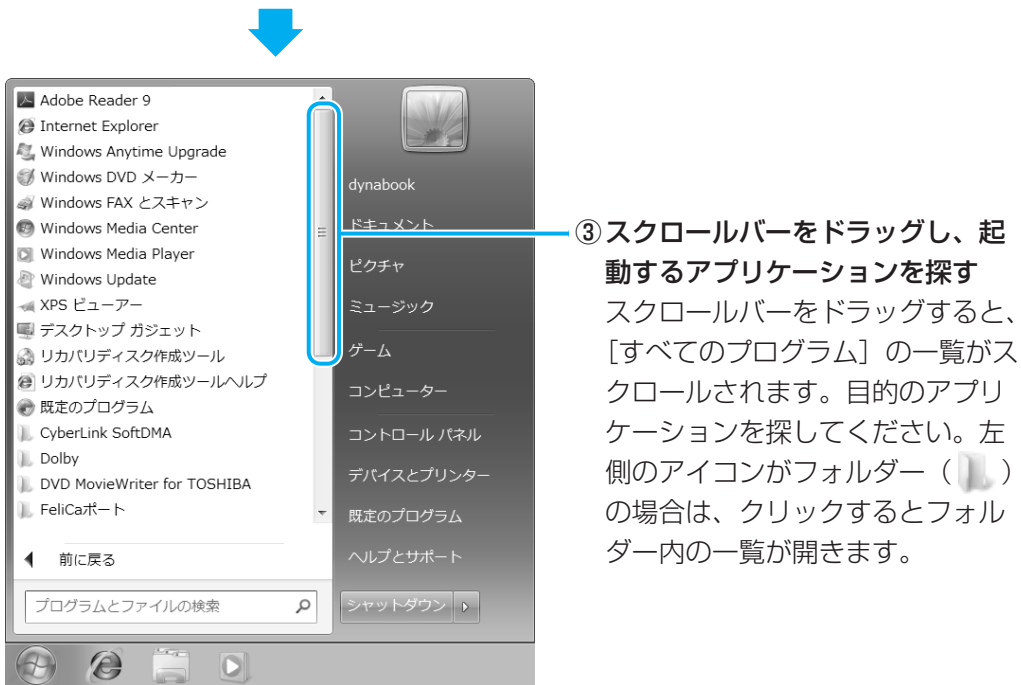
1 [スタート]ボタン( )→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳]をクリックする

この手順は、次のような操作を表しています。参考にして操作してください。

[スタート]メニューの左側の部分が[すべてのプログラム]の一覧に切り替わります。

③スクロールバーをドラッグし、起動するアプリケーションを探す

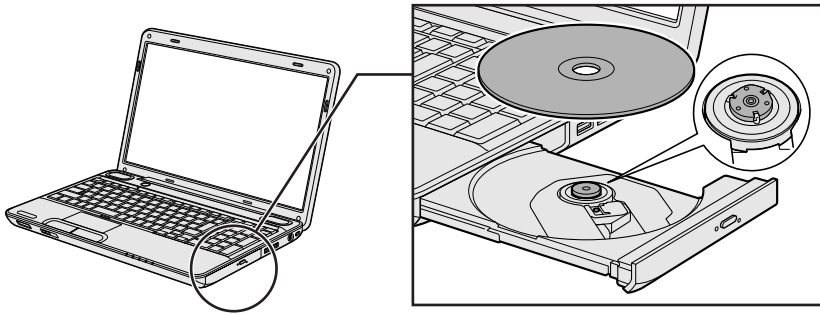
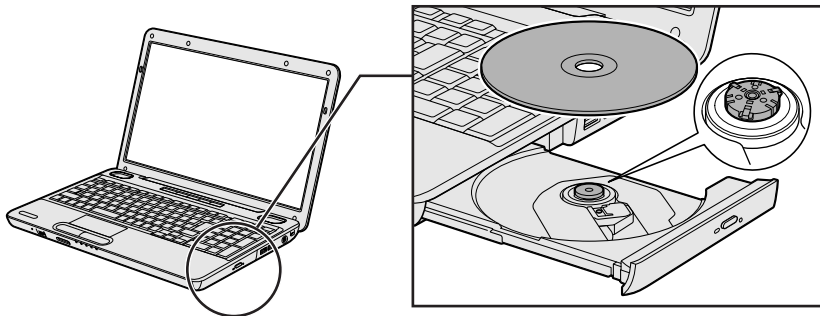
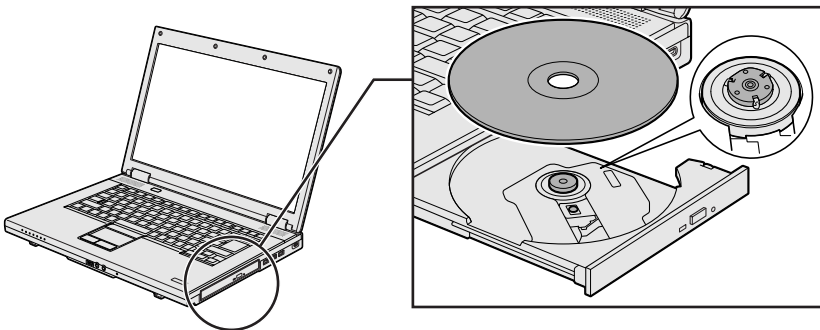
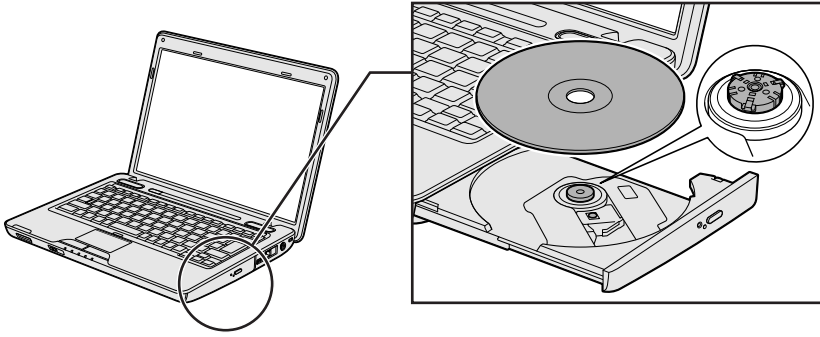
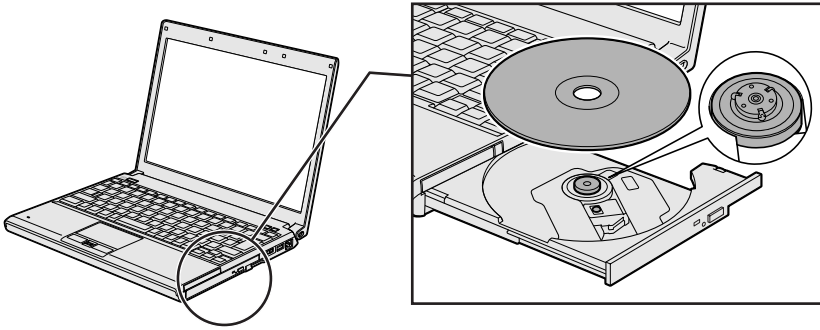
スクロールバーをドラッグすると、［すべてのプログラム］の一覧がスクロールされます。目的のアプリケーションを探してください。左側のアイコンがフォルダー（ ）の場合は、クリックするとフォルダー内の一覧が開きます。

④［アクセサリ］をクリック

⑤［メモ帳］をクリック

「メモ帳」が起動します。

12 CD／DVDのセットについて

シリーズやモデルによって、ドライブの位置が異なります。
各シリーズのドライブやディスクをセットする位置は、次のイラストを参考に確認してください。

■TXシリーズ、AXWシリーズの場合

■EXシリーズ、BXシリーズの場合

■PXWシリーズの場合

■CXシリーズ、CXWシリーズの場合

■NXシリーズ、NXWシリーズの場合

ドライブについて、詳しくは『いろいろな機能を使おう』を確認してください。

1 DVDの映画や映像を見る

本製品では、DVDの再生ができます。
Windows上でDVDを再生するには、「TOSHIBA（トウシバ） DVD（ディーブイディー） PLAYER（プレーヤー）」を使います。

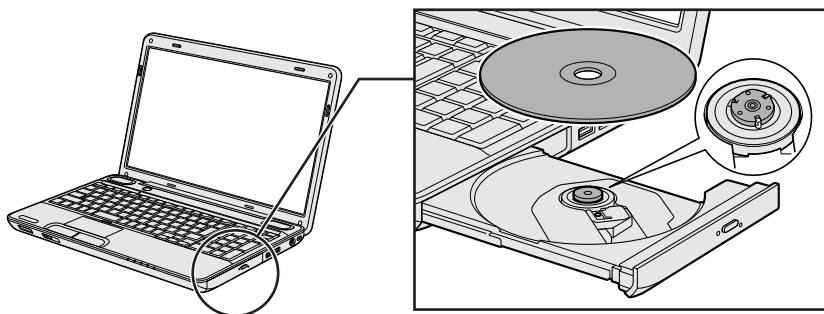
メモ

- DVDを再生する場合、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る

ここでは、「TOSHIBA DVD PLAYER」でDVDの映像を見る方法を説明します。
「TOSHIBA DVD PLAYER」を使う前に、「11-1 DVDの再生にあたって」をよくお読みください。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

ブルーレイディスクドライブモデルの場合は、「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。詳細は「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプを参照してください。
DVDスーパーマルチドライブモデルの場合は、［自動再生］画面が表示されますので、手順 2 へ進んでください。

▼DVDスーパーマルチドライブモデルのみ

2 ［DVDムービーの再生 -TOSHIBA DVD PLAYER使用］をクリックする

［DVDムービーに対しては常に次の動作を行う］にチェックがついている状態で、手順 2 の操作をすると、次回以降はDVDをセットすると自動的に「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。

（表示例）

「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。
詳細は、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプを参照してください。

▲DVDスーパーマルチドライブモデルのみ

メモ

- 「TOSHIBA DVD PLAYER」は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER］をクリックして起動することもできます。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA DVD PLAYER」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。

1 映像ウィンドウ右上の［ヘルプ］ボタン（ ? ）をクリックする

「TOSHIBA DVD PLAYER」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

2 ブルーレイディスクの映画や映像を見る

＊ブルーレイディスクドライブモデルのみ

ブルーレイディスクドライブモデルでは、ブルーレイディスクの再生ができます。
Windows上でブルーレイディスクを再生するには、「WinDVD BD for TOSHIBA」を使います。

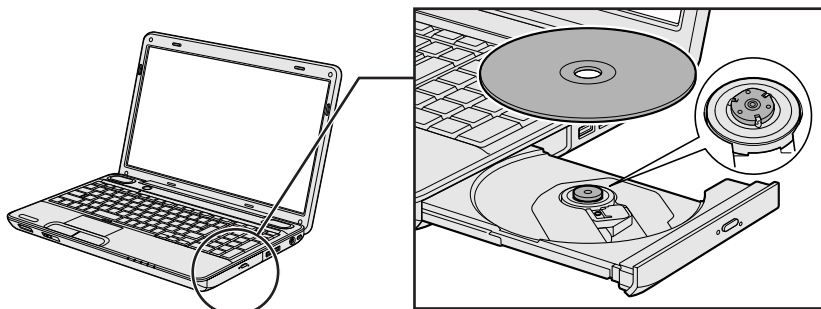
メモ

- ブルーレイディスクを再生する場合、「WinDVD BD」を使用してください。
  その他の市販ソフトを使用してブルーレイディスクを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 WinDVD BDで見る

ここでは、「WinDVD BD」でブルーレイディスクの映像を見る方法を説明します。
「WinDVD BD」を使う前に、「11-2 ブルーレイディスクの再生にあたって」をよくお読みください。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにブルーレイディスクをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

「WinDVD BD」が起動します。
詳細は、「WinDVD BD」のヘルプを参照してください。

メモ

- 「WinDVD BD」は、[スタート]ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［WinDVD BD for TOSHIBA］をクリックして起動することもできます。

ヘルプの起動方法

「WinDVD BD」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。

映像ウィンドウ右上の［ヘルプ］ボタン（ ）をクリックする

「WinDVD BD」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

3 映像を編集して DVD／ブルーレイディスクに残す

＊ ブルーレイディスクへの書き込み（保存）は、ブルーレイディスクドライブモデルのみ

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVD／ブルーレイディスクに残すことができます。

1 DVD／ブルーレイディスクを作成する準備

映像を編集してDVD／ブルーレイディスクに残すには、「DVD MovieWriter for TOSHIBA」を使います。

DVDを用意する

「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットを参考に、書き込み可能なDVDメディアを用意してください。なお、推奨するメーカーの記録メディアを使用してください。

参照 推奨するメーカー『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

❏ フォーマット

フォーマットとは、映像を書き込むときの記録形式のことです。フォーマットによって、作成したDVDを再生できる機器が異なります。それぞれ次の特徴があります。

■ DVD-Videoフォーマット

もっとも一般的なDVD形式です。ほとんどの家庭用DVDビデオレコーダーやパソコンと再生互換があります。メニューを作成することができます。

■ -VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。一部の家庭用DVDビデオレコーダーやパソコンでは再生できない場合があります。メニューを作成することはできません。

■ +VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。DVD+VRに対応した家庭用DVDビデオレコーダーやパソコンでのみ再生できます。メニューを作成することができます。

■ AVCHDフォーマット

＊ ブルーレイディスクドライブモデルのみ

再編集可能なDVDを作成します。AVCHDフォーマットに対応した家庭用DVDビデオレコーダーやパソコンでのみ再生できます。メニューを作成することができます。

メモ

- メニューとは、DVDをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットは、次のとおりです。

○：使用できる　×：使用できない

	DVD-R *1	DVD-RW	DVD+R *2	DVD+RW	DVD-RAM
DVD-Videoフォーマット	○	○	○	○	×
-VRフォーマット	○	○	×	×	○
+VRフォーマット	×	○	×	○	×
AVCHDフォーマット	○	○	○	○	×

＊1 DVD-R DLを含みます。
＊2 DVD+R DLを含みます。

▼ブルーレイディスクドライブモデルのみ

ブルーレイディスクを用意する

BD-RまたはBD-REを用意してください。なお、推奨するメーカーのメディアを使用してください。

参照 推奨するメーカー『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

❏ フォーマット

フォーマットとは、映像を書き込むときの記録形式のことです。フォーマットによって、作成したブルーレイディスクを再生できる機器が異なります。それぞれ次の特徴があります。

■BDMVフォーマット

もっとも一般的なブルーレイディスク形式です。ほとんどの家庭用ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクレコーダーやパソコンと再生互換があります。メニューを作成することができます。

■BDAVフォーマット

再編集可能なブルーレイディスクを作成します。一部の家庭用ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクレコーダーやパソコンでは再生できない場合があります。メニューを作成することはできません。

メモ

- メニューとは、ブルーレイディスクをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットは、次のとおりです。

○：使用できる　×：使用できない

	BD-R *1	BD-RE *2
BDMVフォーマット	○	○
BDAVフォーマット	○	○

＊1 BD-R DLを含みます。
＊2 BD+RE DLを含みます。

▲ブルーレイディスクドライブモデルのみ

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

メモ

- 映像を編集する前に、「11-4「DVD MovieWriter」の使用にあたって」をよくお読みください。

ヘルプの起動方法

「DVD MovieWriter」についての詳細は、『DVD MovieWriter ユーザーガイド』を確認してください。

2 映像ファイルをDVD／ブルーレイディスクにする

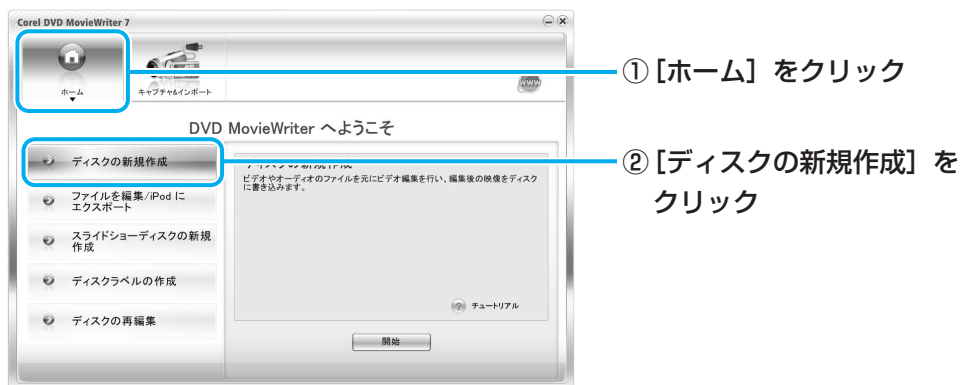
ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVD／ブルーレイディスクに書き込む方法を説明します。

1 DVD／ブルーレイディスクにする映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）を用意する

映像ファイルを取り込む

2 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［DVD MovieWriter Launcher］をクリックする

「DVD MovieWriter」が起動します。

3 ［ディスクの新規作成］を選択する

役立つ操作集

iPod用の映像ファイルを出力する

＊ TXシリーズ、AXWシリーズのみ

映像ファイルを編集して、動画を再生できる「iPod」や携帯型の外部機器に対応した映像ファイルを出力することができます。
「iPod」を使用される場合は、先に「iTunes」をインストールしてください。

参照 「iPod」、「iTunes」について『iPodの取扱説明書』

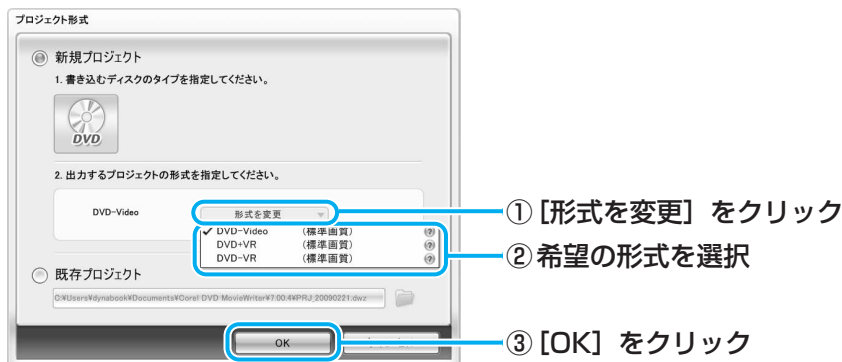
① 「DVD MovieWriter」を起動する
　本項の手順 1 ～ 2 と同じ操作を行ってください。
② ［ホーム］をクリック→［ファイルを編集/iPodにエクスポート］をクリックする
③ 編集を行う
　本項の手順 5 ～ 7 と同じ操作を行ってください。
　2つ以上のファイル（タイトル）を編集する場合は、「メディアを編集」の［ビデオを合成］を行うと、1つのファイルとして出力されます。
④ ［次へ］をクリックする
⑤ ［iPod形式を出力］タブで、出力するときのファイル形式を選択する
⑥ ［次へ］をクリックする
　ファイルの保存場所とファイル名を設定する画面が表示されます。
⑦ ファイル名を設定して、［保存］をクリックする
　ファイルの出力が始まります。作成されたファイルは「iTunes」に登録されます。

AVCHD形式の映像ファイルを取り込む／出力する

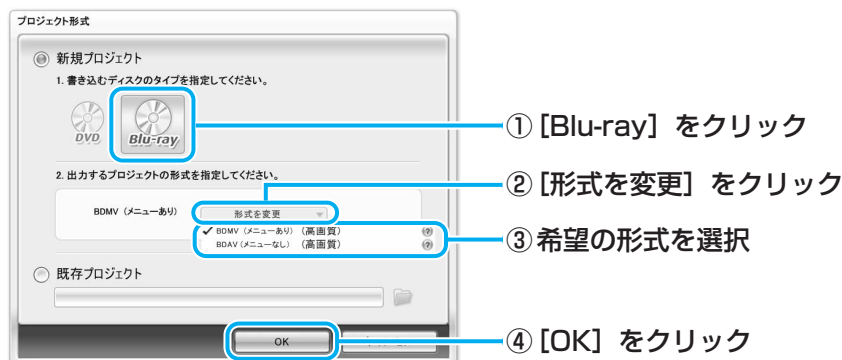
＊ ブルーレイディスクドライブモデルのみ

ブルーレイディスクドライブモデルでは、AVCHD形式の映像ファイルの取り込みや、書き出しが可能です。
取り込み方法については、「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む」を確認してください。
書き出し方法については、本項の手順 1 ～ 3 と同じ操作を行い、手順 4 の②の［2.出力するプロジェクトの形式を指定してください。］で、「AVCHD（高画質）」を選択してください。

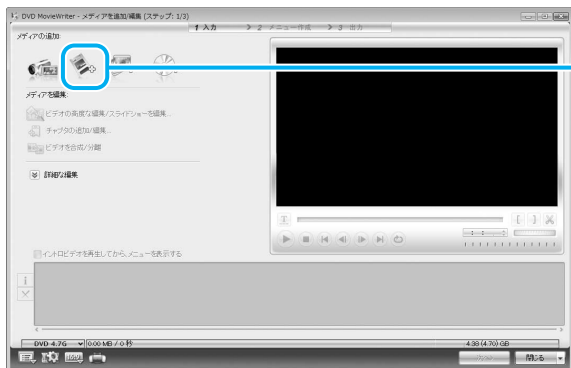
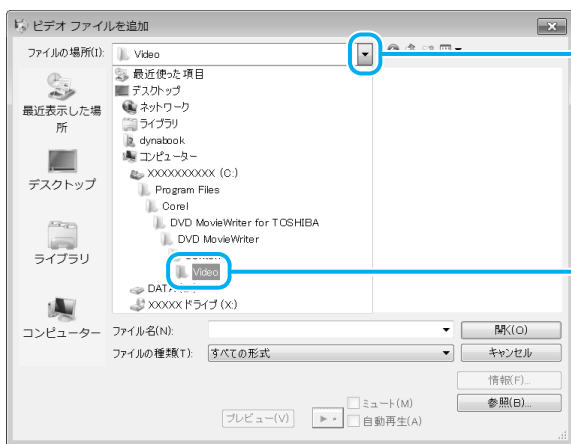
4 作成したいDVD／ブルーレイディスクの形式を選択する

ここでは、DVD-Videoを作成する場合を例にして説明します。
［形式を変更］ボタンをクリックして、表示されたリストの中から希望の形式を選択してください。

▼ブルーレイディスクドライブモデルのみ

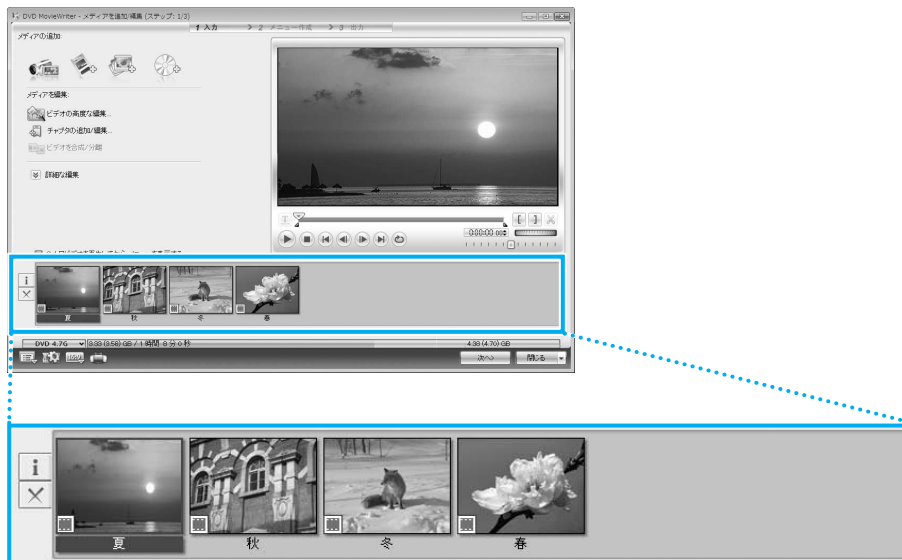
■ブルーレイディスクを作成する

作成方法は、DVDに残す場合と同様です。
作成するディスクのタイプは、［Blu-ray］を選択してください。

以降の操作は、DVDに残す場合の説明を参照する、または、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

▲ブルーレイディスクドライブモデルのみ

5 編集したい映像ファイルを選択する

複数のファイルを取り込む場合は、手順 5 を繰り返し行ってください。

6 映像ファイルが取り込まれる

［メディアを追加/編集（ステップ：1/3)］画面に戻り、画面下部の「メディアリスト」に編集したい映像ファイルが追加されます。

「メディアリスト」に表示される映像ファイルの1つ1つが、メニュー画面に表示されるタイトルになります。

メモ

● 映像用DVD／ブルーレイディスクは一部を除いて、タイトル、チャプターが設定されています。
DVD／ブルーレイディスク再生時に、各タイトルやチャプターから再生できます。

DVD／ブルーレイディスクのタイトルとチャプターの構造（例）

DVD／ブルーレイディスク（メディア）
　-タイトル1
　　-チャプター1
　　-チャプター2
　-タイトル2
　　-チャプター1…

役立つ操作集

映像ファイルを取り込む

「メディアの追加」に用意されている各ボタンをクリックすると、映像ファイルを取り込むことができます。

[ビデオをキャプチャ]
本製品ではサポートしていません。
映像の取り込みは［フォルダからビデオをインポート］から行ってください。

[ビデオファイルを追加]
あらかじめファイルにしておいたビデオ映像など、本製品で作成した映像ファイルをメディアリストに追加します。
＊一部サポートしていないファイルもあります。

[フォルダからビデオをインポート]
パソコン本体のハードディスクまたはパソコン本体に接続したデジタルビデオカメラや、CD／DVD／ブルーレイディスク*1、メディアカードなどの記録メディアから映像を取り込みます。
映像を選択して、取り込むこともできます。
＊1　ブルーレイディスクドライブモデルのみ

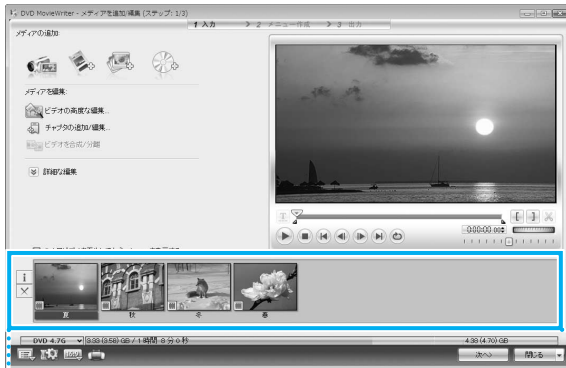
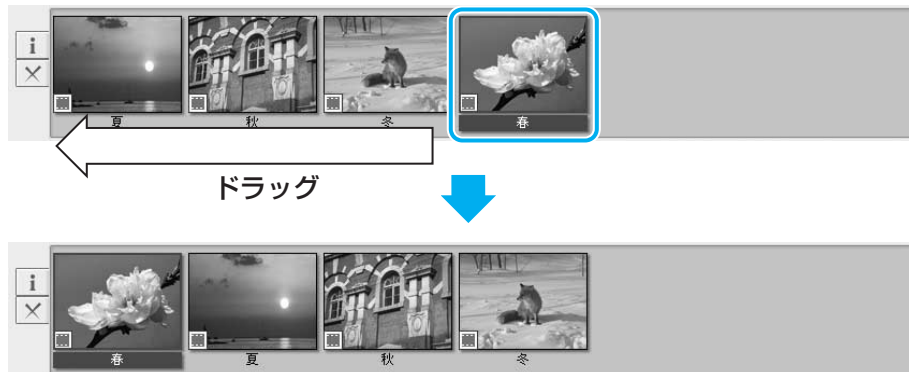
[写真を指定してスライドショーを作成]
複数の画像などをスライドショーに加工して取り込みます。

参照　デジタルビデオカメラから映像を取り込む方法
「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む」

次は、編集を行います。

映像ファイルを編集する

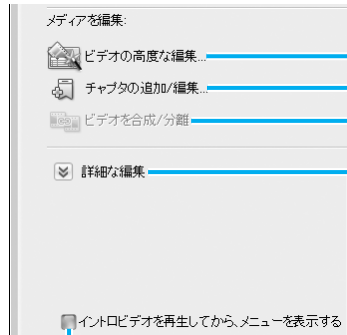
7 クリップを並べ替える

「メディアリスト」の映像ファイル（タイトル）が複数ある場合、左から順に再生されます。複数の映像ファイル（タイトル）を再生したい順に並べ替える場合の手順を説明します。

映像ファイル（タイトル）をドラッグアンドドロップして、再生したい順番に並べ替えます。

タイトルが並べ替えられました。

役立つ操作集

映像ファイルを加工する

取り込んだファイルの編集や加工には、「メディアを編集」のボタンを使用します。

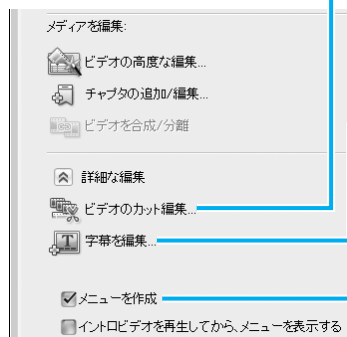
【[詳細な編集]が表示されていない場合】

[ビデオの高度な編集]
選択したファイルにタイトルを入れたり、マイク（市販）を使用して、音声を追加したりできます。

[チャプタの追加/編集]
選択した映像ファイル（タイトル）内にチャプターを設定することができます。

[ビデオを合成/分離]
［ビデオを合成］は、選択している2つ以上の取り込んだファイルを、1つのファイル（タイトル）に合成します。
［ビデオを分離］は、合成したファイル（タイトル）を元に戻します。

[詳細な編集]
［ビデオのカット編集］、［字幕を編集］、［メニューを作成］ボタンを表示します。

[イントロビデオを再生してから、メニューを表示する]
チェックを付けると、最初の映像ファイル（タイトル）をDVDメニューが表示する前に再生します。

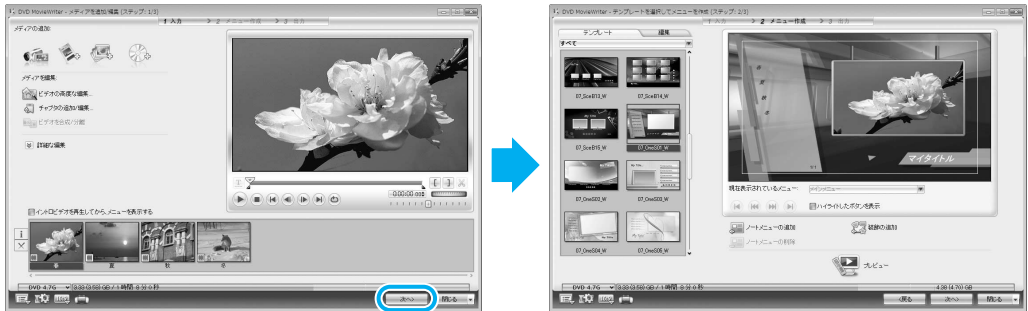
【[詳細な編集]が表示されている場合】

[ビデオのカット編集]
「マークイン」と「マークアウト」を設定することで、映像から必要な部分を抜き出す場合に使用します。
複数の部分を抜き出すこともできます。

[字幕を編集]
ファイルの情報や字幕を映像に追加することができます。

[メニューを作成]
チェックを付けると、メニュー画面を作成することができます。

次は、メニュー画面を作成します。

メニューを作成する

8 メニューを作成する

① [次へ] をクリック

［テンプレートを選択してメニューを作成（ステップ：2/3）］画面が表示されます。
ここではあらかじめ用意されているメニューを使います。

メモ

- メニューの作成では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
  ・音楽の追加
  ・タイトルの追加
  ・エフェクトの編集
  ・メニューの背景画像、文字入力やボタンの変更
  詳細については、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

9 プレビュー画面で動作を確認する

メニューの動作を確認することができます。

①［プレビュー］をクリック

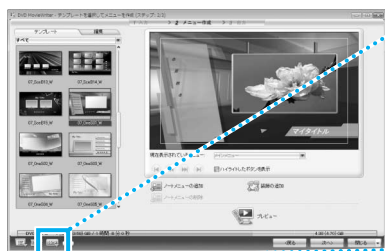
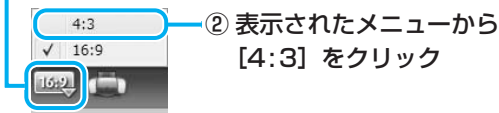
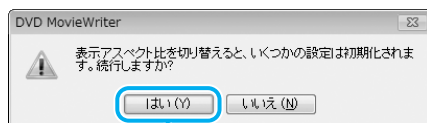
作成したメニューを確認できる画面に切り替わります。

②リモコンのボタンをクリックし、動作を確認する

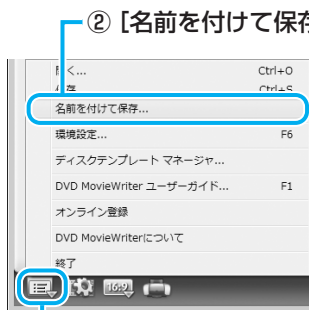
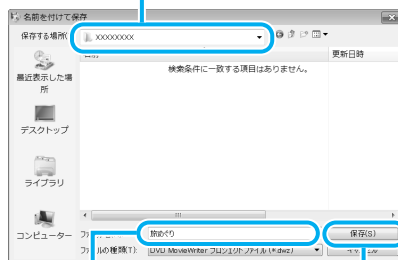
③［戻る］をクリックしてメニュー作成画面に戻る

役立つ操作集

画面サイズを切り替える

購入時は16:9の画面サイズ用に作成する設定になっていますが、4:3の画面サイズにも対応した設定に切り替えることができます。

確認画面が表示されます。

4:3の画面サイズに対応した表示に切り替わります。

編集途中のデータを保存する

編集中のデータを保存して、あとでDVD／ブルーレイディスクへの書き込みを行うことができます。

保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。
データの編集を再開するときは次の手順でプロジェクトファイルを呼び出します。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［DVD MovieWriter Launcher］をクリックする
② ［ホーム］→［ディスクの新規作成］をクリックする
③ ［既存プロジェクト］をチェックし、ファイルを選択する
④ ［OK］ボタンをクリックする

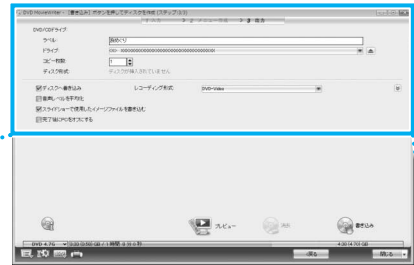
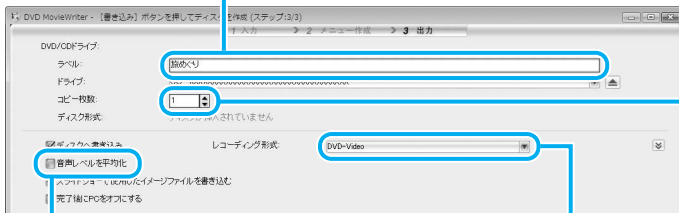
これで、編集したい映像を1つにまとめ、メニューを作ることができました。
次は、DVD／ブルーレイディスクに書き込みます。

DVD／ブルーレイディスクに書き込む

10 書き込むディスクを設定する

① [次へ] をクリック
[テンプレートを選択してメニューを作成（ステップ：2/3）] 画面が表示されている場合は、手順②へ進んでください。

② [次へ] をクリック

[[書き込み] ボタンを押してディスクを作成（ステップ：3/3）] 画面が表示されます。

③作成するディスクの名前を入力する

④作成するディスクの枚数を指定する

⑤レコーディング形式（フォーマット）を選択する
記録メディアによって用意されている形式（フォーマット）から選択します。

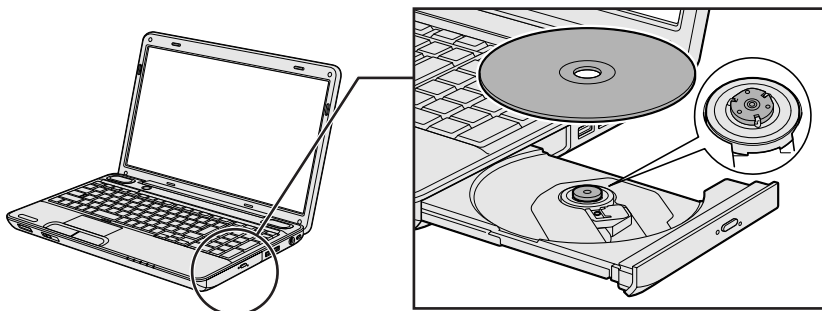
⑥必要に応じてチェックを付ける
音量の異なる複数の映像データを1つにまとめている場合、チェックを付けると全体を通してバランスのとれた音量に自動的に調整します。

参照 形式（フォーマット）「本節 1 DVD／ブルーレイディスクを作成する準備」

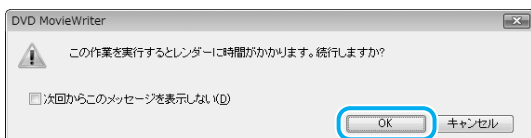
メモ

● DVD／ブルーレイディスクまたはハードディスクに書き出す前に、「11 - 3 メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

11 ドライブにDVD／ブルーレイディスクをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

12 DVD／ブルーレイディスクに書き込む

①［書き込み］をクリック

確認のメッセージが表示されます。

②［OK］をクリック

メモ

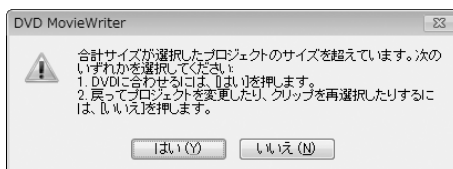
● 映像の書き込みには時間がかかる場合があります。

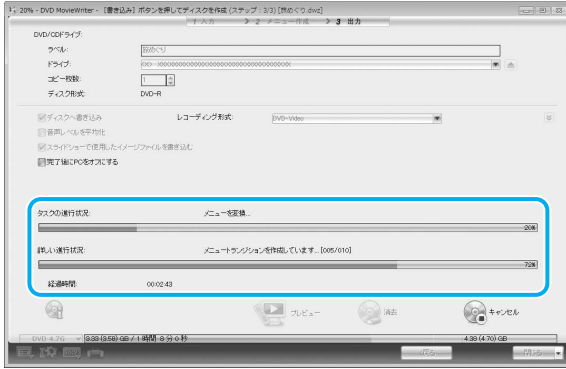
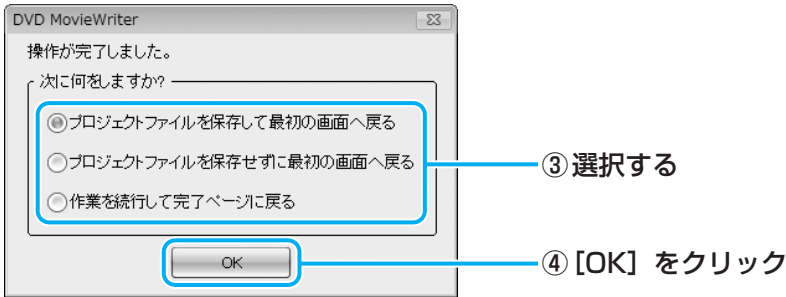
役立つ操作集

映像ファイルの長さを確認する

画面下部のメーターの色で、映像ファイルの長さを確認できます。緑色の部分は1枚のDVD／ブルーレイディスクに保存できますが、黄色や赤色の部分は、1枚のDVD／ブルーレイディスクの容量を超えています。映像ファイルを2枚のDVD／ブルーレイディスクにするか、いらない部分を削除してください。

また、DVDの場合は、メーターが超えていても、映像の品質は落ちますが、長時間の映像ファイルを1枚のDVDに書き込むことが可能です（DVDピッタリ記録）。［書き込み］をクリックして、右のメッセージが表示されたときに［はい］をクリックしてください。

条件によりDVDに書き込めない場合もあります。書き込める条件の目安は、4.7GBのDVDの場合、DVD-EP（拡張再生）で録画した240分以下の映像ファイルです。

DVD／ブルーレイディスクの書き込みが始まります。

書き込みを開始すると画面に［タスクの進行状況］と［詳しい進行状況］が表示されます。

DVD／ブルーレイディスクの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。

DVD／ブルーレイディスクの書き込みが終了し、自動的にディスクトレイが開きます。

■③で［プロジェクトファイルを保存して最初の画面へ戻る］を選択した場合

作成・編集したデータを保存していない場合は、［名前を付けて保存］画面が表示されます。保存場所とファイル名を指定して、［保存］をクリックしてください。
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。プロジェクトファイルは、あとから呼び出して、再編集することができます。プロジェクトファイルの呼び出し方法は、手順 **9** の「役立つ操作集」を確認してください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 **1** DVD／ブルーレイディスクを作成する準備」を参照してください。

3 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む

デジタルビデオカメラで撮影した映像や記録メディアの映像ファイルをパソコンに取り込むことができます。
ここでは、映像ファイルを取り込む方法を説明します。

1 映像ファイルを取り込む

内蔵されたハードディスクまたは記録メディアに録画するデジタルビデオカメラや、CD／DVD／ブルーレイディスク＊1、メディアカードなどの記録メディアから、映像ファイルをパソコンのハードディスクに取り込むことができます。

＊1 ブルーレイディスクドライブモデルのみ

1 デジタルビデオカメラをパソコン本体に接続する、または記録メディアをセットする

デジタルビデオカメラをパソコン本体に接続する場合は、デジタルビデオカメラと本製品の両方が対応している方法を確認して接続してください。

参照 本製品に用意されているコネクタ『いろいろな機能を使おう』

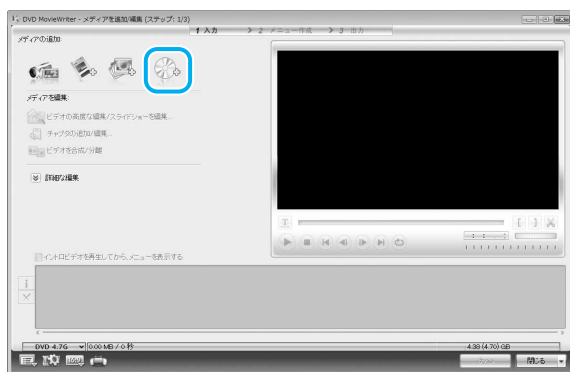
参照 デジタルビデオカメラが対応している接続方法『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

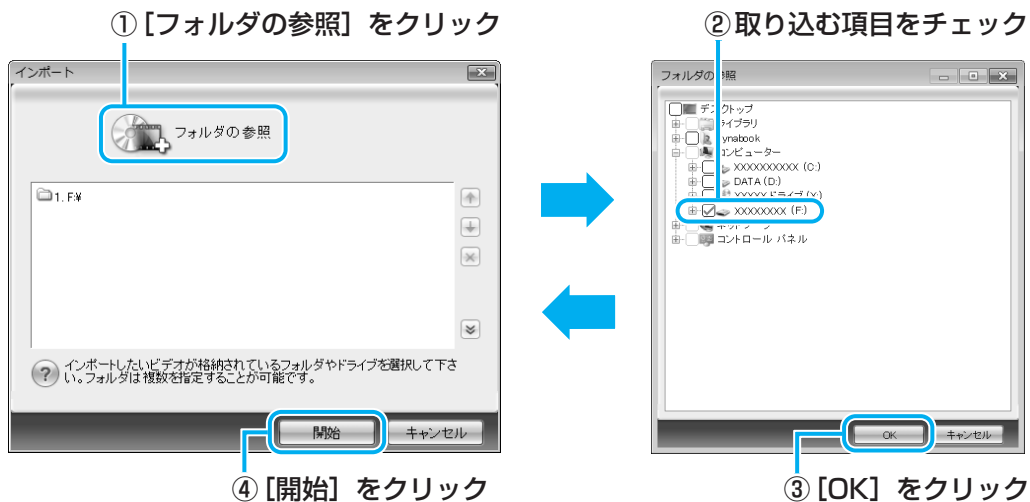
記録メディアをパソコン本体にセットする方法は、『いろいろな機能を使おう』を確認してください。

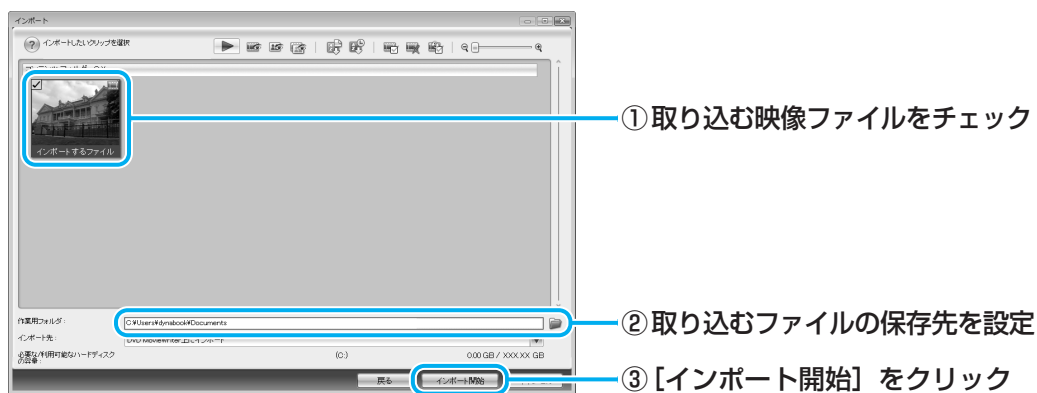
2 「DVD MovieWriter」を起動する

「本節 2 映像ファイルをDVD／ブルーレイディスクにする」の手順 2 から 4 と同じ操作を行ったあと、［メディアを追加/編集（ステップ：1/3)］画面に進んでください。

3 ［フォルダからビデオをインポート］をクリックする

［インポート］画面が表示されます。

3 映像を編集してDVD／ブルーレイディスクに残す

4 取り込む項目を選択して、［開始］をクリックする

5 ハードディスクに取り込む映像をチェックし、取り込みを開始する

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVD／ブルーレイディスクを作成する準備」を参照してください。

「DVD MovieWriter for TOSHIBA」のお問い合わせ先

コーレル株式会社 インタービデオ テクニカルサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.corel.jp/support/）をご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間　：月～金　10:00～12:00、13:30～17:30
（12:00～13:30、土日祝祭日、ならびに指定休業日を除く）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：メールでのお問い合わせは、以下のURLに掲載されている専用のメールフォームをご利用ください。
http://www.corel.jp/support/
ホームページ：http://www.corel.jp/

4 音楽を聴く

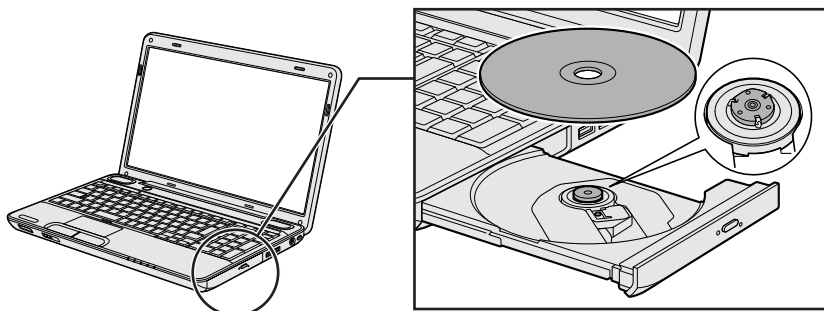
本製品で音楽CDを聴くためには、「Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Player（プレーヤー）」を使います。

「Windows Media Player」では、音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。
ここでは、「Windows Media Player」の基本的な使いかたを説明します。

1 音楽CDを聴く

ここでは、「Windows Media Player」で音楽CDを聴く方法を説明します。
ドライブに音楽CDをセットするだけで、「Windows Media Player」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

2 ［オーディオCDの再生 - Windows Media Player使用］をクリックする

［オーディオCDに対しては常に次の動作を行う］にチェックがついている状態で、［オーディオCDの再生-Windows Media Player使用］をクリックすると、次回以降は音楽CDをセットすると自動的に「Windows Media Player」が起動します。

（表示例）

初めて起動したときは、［Windows Media Playerへようこそ］画面が表示されます。表示された画面の指示に従って操作してください。

3 音楽を聴く

自動的にCDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

操作画面

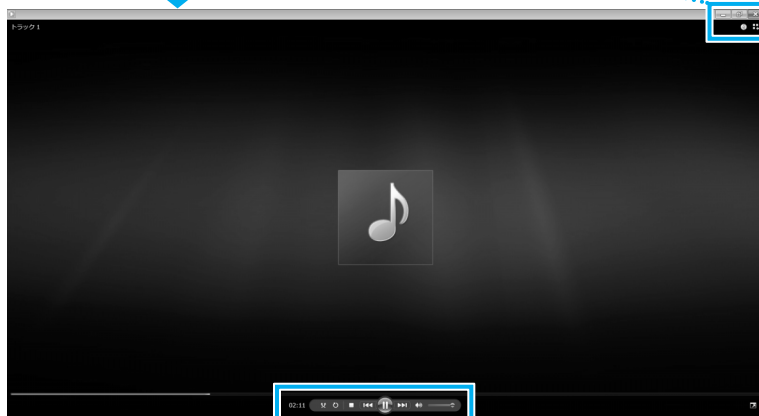
画面のボタンなどが表示されていない場合は、画面にポインターを合わせると表示されます。

トラック 1

最大化
クリックすると画面が切り替わります。

元に戻す（縮小）
クリックすると画面が切り替わります。

CDの取り込み
音楽CDから音楽を取り込むときにクリックします。

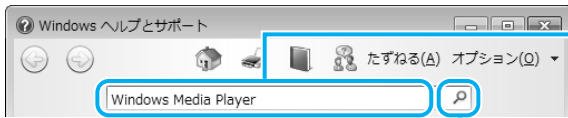
ライブラリに切り替え
再生リストを作成したり、音楽を管理するときなどにクリックします。

メモ

- 「Windows Media Player」が起動しなかったときは、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「Windows Media Player」についての詳細は、『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。
起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックする

2 知りたいことを検索する

「Windows Media Player」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

5 オリジナル音楽CDを作る

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator（トウシバ ディスク クリエイター）」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。推奨するメーカーのCDを用意してください。

参照 推奨するメーカー『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

メモ

- 音楽CDを作る前に、「11-3 メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」、「11-5 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

1 オリジナル音楽CDを作る

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

音楽CDから曲（音楽ファイル）をパソコンに取り込む

▼

音楽ファイルの曲順を入れ替える

▼

CDに書き込む

本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

参照 「はじめに 6 著作権について」

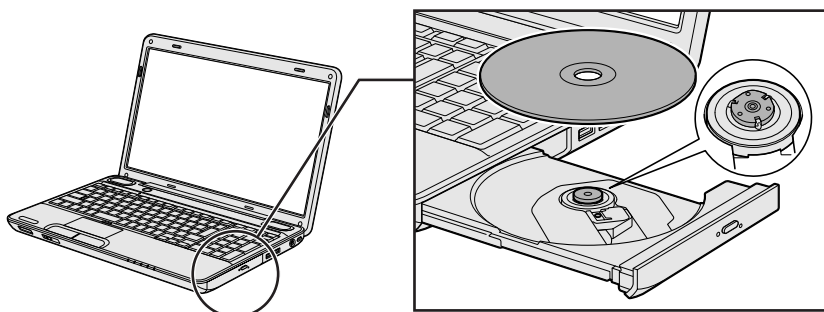
音楽ファイルを取り込む

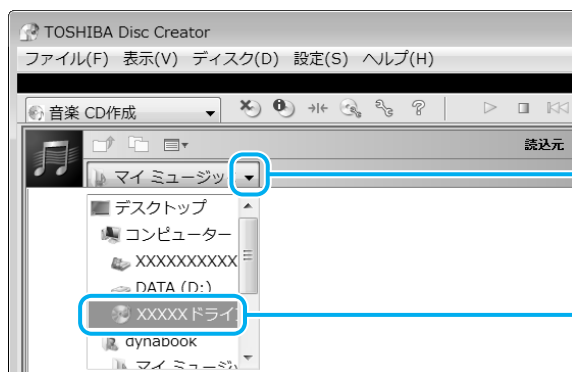
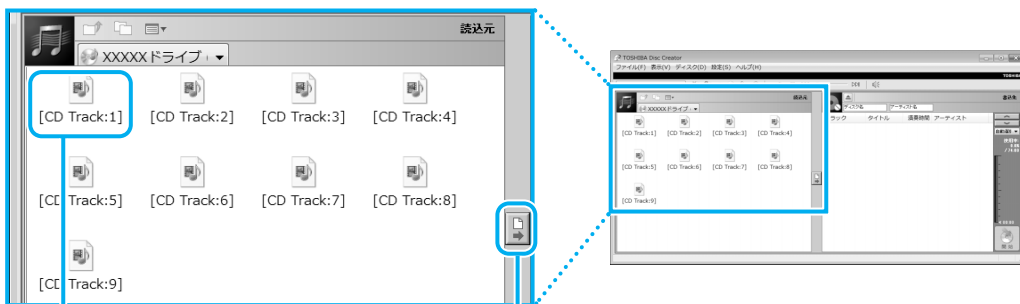
1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［CD&DVDアプリケーション］→［Disc Creator］をクリックする

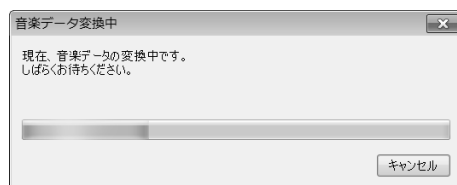
2 ［音楽CD作成］をクリックする

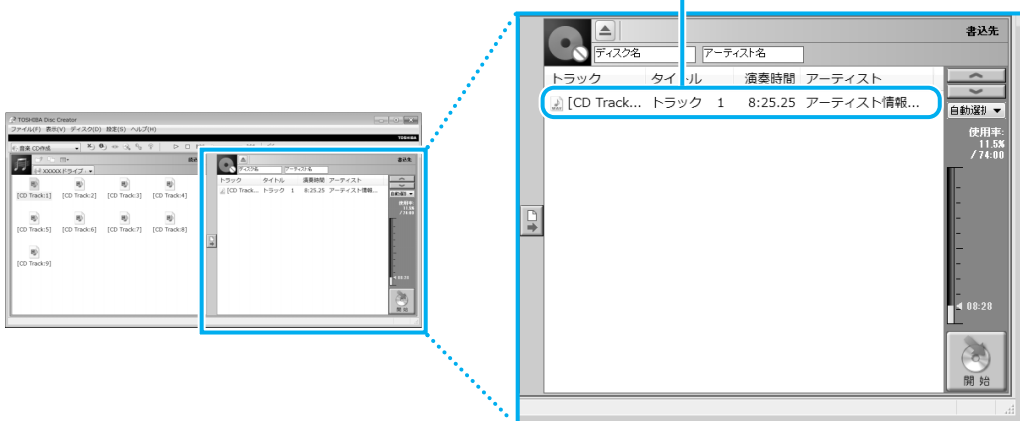
手順 2 のあと、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。

3 ドライブに音楽CDをセットする

＊イラストはTXシリーズです。

［自動再生］画面が表示された場合は［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

4 ドライブを選択する

5 書き込みたい曲（トラック）を選択する

①書き込みたい曲をクリック
曲は、「Track」と表示されます。
曲を複数選択したい場合は、
CTRLキーを押したまま目的の
曲をクリックしてください。

②［書き込み先にデータを追加する］をクリック

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧

6 音楽CDを入れ替え、手順 5 を繰り返す

ほかの音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

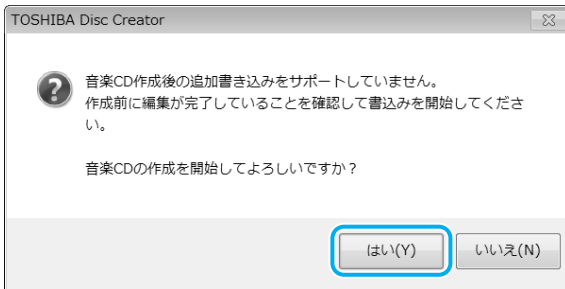
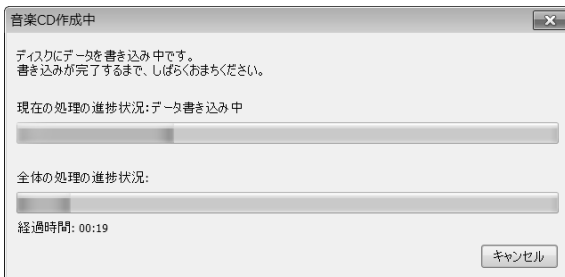
メモ

- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

CDに書き込む

7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

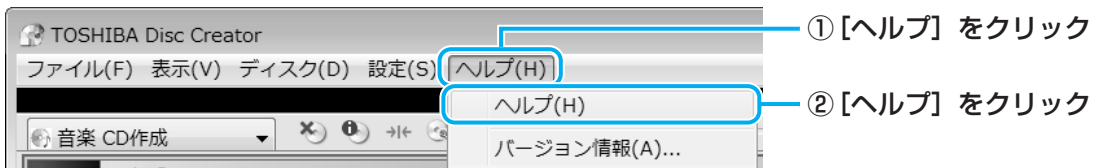
8 ［開始］ボタンをクリックする

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

10 ［いいえ］ボタンをクリックする

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCDと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

「TOSHIBA Disc Creator」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

6 デジタルカメラの写真を見る

デジタルカメラで撮った写真などの画像を閲覧するには、「MediaShow for TOSHIBA」を使用します。

1 写真を見る

「MediaShow for TOSHIBA」では、デジタルカメラで撮った写真などの画像を、閲覧、管理、編集することができます。また、画像をデスクトップの背景に設定したり、スライドショーやスクリーンセーバーを作成したりすることなどができます。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［CyberLink MediaShow for TOSHIBA］→［MediaShow for TOSHIBA］をクリックする

「MediaShow for TOSHIBA」が起動します。

初めて起動したときは、ユーザー登録画面が表示されます。この方法でユーザー登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザー登録を行う場合は、画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。あとでユーザー登録を行う場合は、［後でユーザ登録を行う］ボタンをクリックしてください。
続けて、［ようこそ］画面が表示されます。画面の指示に従って、画像を保存しているフォルダーを選択してください。

ヘルプの起動方法

「MediaShow for TOSHIBA」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［CyberLink MediaShow for TOSHIBA］→［MediaShow for TOSHIBA オンラインヘルプ］をクリックする

「MediaShow for TOSHIBA」のお問い合わせ先

サイバーリンク カスタマーサポートセンター

TEL　　　　：0570-080-110
　　　　　　　03-5977-7530（PHS、IP電話をご使用の場合）
受付時間　　：10:00～13:00／14:00～17:00
　　　　　　　（土・日・祝日・休業日を除く）
ホームページ：http://jp.cyberlink.com/support/

Webからのお問い合わせは365日24時間受け付けておりますが、回答を差し上げるのは、サイバーリンク株式会社営業時間内になります。そのため土日祝日や深夜に頂いたご質問は回答を差し上げるのが翌営業日以降になります。

2 写真のデータをCD／DVDにコピーする

本製品に用意されている「TOSHIBA Disc Creator（トウシバ ディスク クリエイター）」を使用して、デジタルカメラで撮った写真のデータをCD／DVDにコピーすることができます。

参照 データをCD／DVDにコピーする
『準備しよう 4章 2-3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

7 Windows Media Centerで映像や音楽を楽しむ

「Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Center（センター）」は、音楽を聴いたり、写真や映像を見たり、オンデマンドでゲームをしたりというような、さまざまなエンターテイメント機能の入り口を1つにまとめた機能です。

1 Windows Media Centerについて

メモ

- 「Windows Media Center」を使用する前に、「11-6 「Windows Media Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

1 起動方法

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Center］をクリックする

「Windows Media Center」が起動します。

初めて起動したときは、［Windows Media Centerへようこそ］画面が表示されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。なお、あとからセットアップを行うこともできます。
セットアップが終了すると、「Windows Media Center」のメインメニューが表示されます。

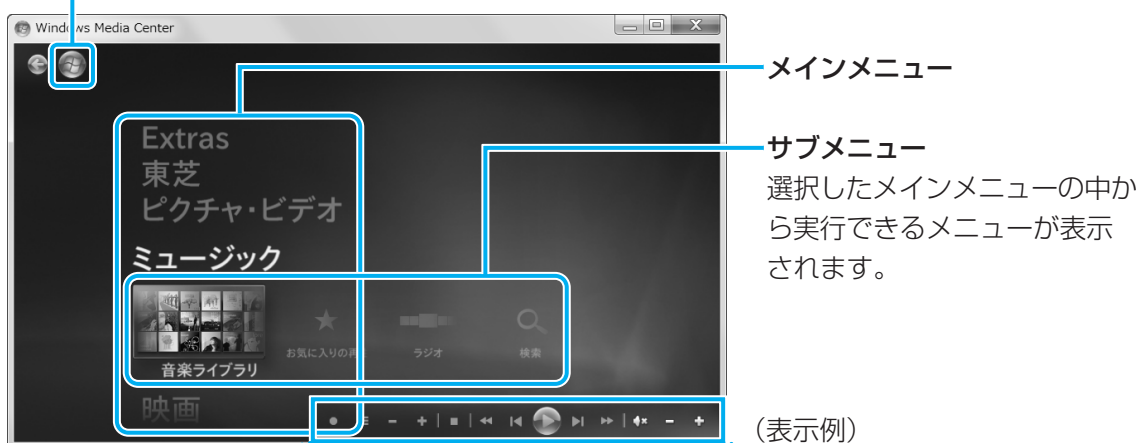
2 Windows Media Centerの画面について

画面上部のボタンや再生 コントロールは、画面にポインターを合わせると表示されます。

クリックすると、メインメニュー画面に戻ります。

メインメニュー

サブメニュー
選択したメインメニューの中から実行できるメニューが表示されます。

（表示例）

再生 コントロール

再生／一時停止、停止、前の項目に戻る、次の項目に進む、音量調整などが操作できます。

メインメニューについて

メインメニューの項目は次のとおりです。

Extras	「Extras ライブラリ」に用意されているプログラム（音楽・映画・ゲームなど）を利用することができます。
東芝	ドライブにセットされているメディアによって、「TOSHIBA DVD PLAYER」または「WinDVD BD for TOSHIBA」*1を起動できます。
ピクチャ・ビデオ	フォルダーに保存してある写真やデジタルビデオカメラなどから取り込んだ映像を見ることができます。
ミュージック	音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを再生することができます。
映画	DVDや、フォルダーに保存してある映像を見ることができます。
Media Center テレビ	「Windows Media Center」でのテレビ機能を利用することができます。
タスク	パソコンのシャットダウンやCD／DVDへの書き込みを行ったり、「Windows Media Center」の各種設定を行うことができます。

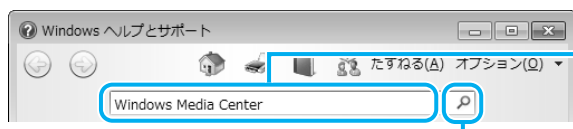
＊1　ブルーレイディスクドライブモデルのみ

メインメニューで目的の項目をクリックすると、サブメニューに実行できる項目が表示されます。表示された項目の中からさらに目的の項目をクリックしてください。
各項目の画面が表示されます。

ヘルプの起動方法

「Windows Media Center」についての詳細は、『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。
起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（　）→［ヘルプとサポート］をクリックする

2 知りたいことを検索する

「Windows Media Center」のお問い合わせ先

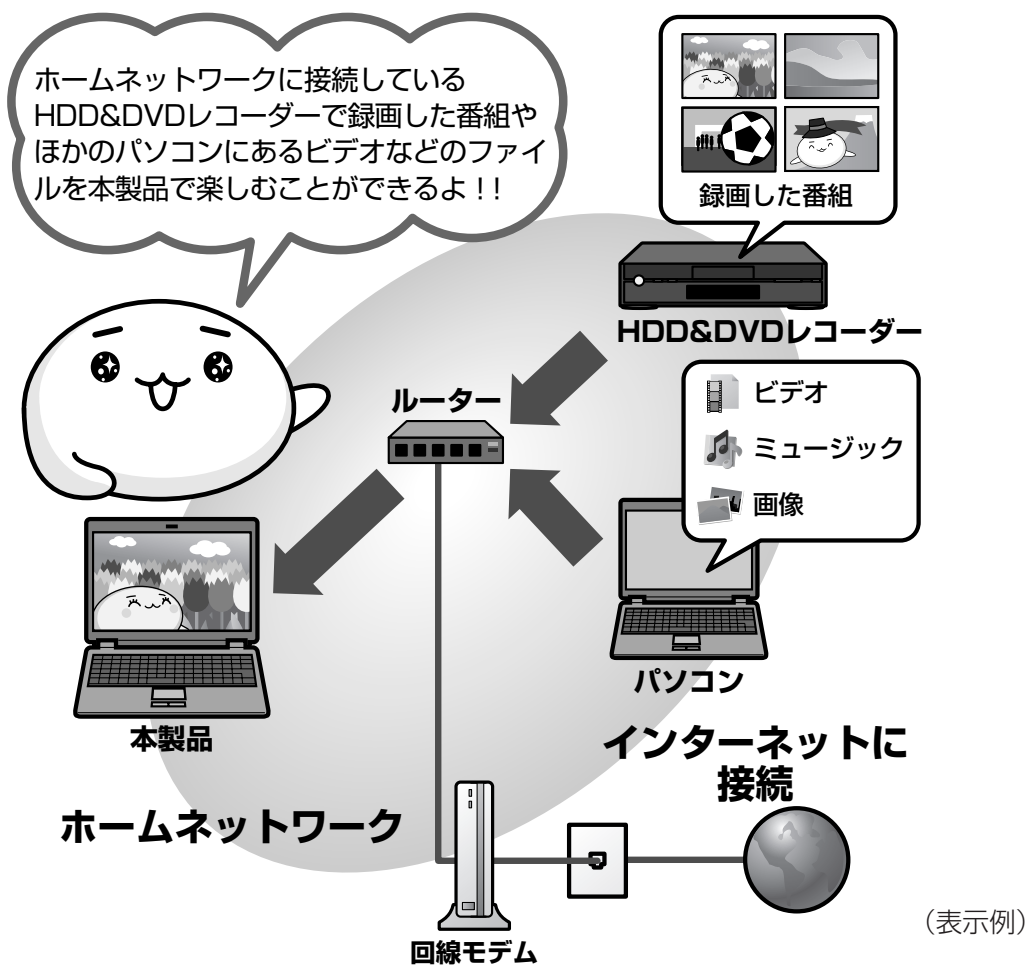
東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

8 ホームネットワークを楽しむ

＊TXシリーズ、AXWシリーズの、Core 2 モデルのみ

「CyberLink SoftDMA for TOSHIBA」（SoftDMA）を使うと、ホームネットワークに接続しているHDD&DVDレコーダーや本製品以外のパソコンなどから、それぞれ録画・保存している映像・音楽・画像などのコンテンツを受信して、本製品で楽しむことができます。
ホームネットワークに接続しているHDD&DVDレコーダーなどがDTCP-IPに対応している場合は、HDD&DVDレコーダーに保存されているデジタル放送の録画コンテンツを、「SoftDMA」を使って本製品で楽しむことができます。

（表示例）

詳細については、《パソコンで見るマニュアル（検索）：ホームネットワークを楽しもう》を参照してください。

メモ

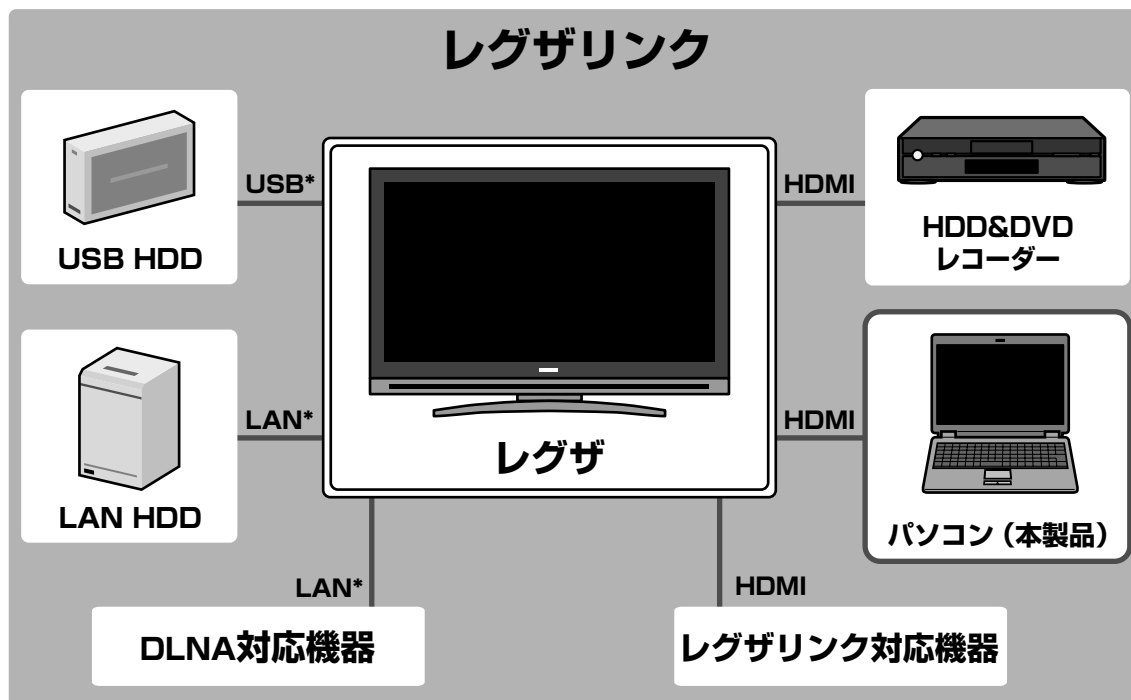
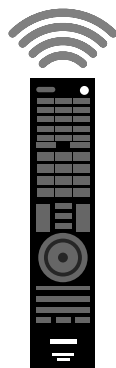
- 「ホームネットワーク」とは、ルーターなどを使い、家庭内でLAN（Local Area Network）機能のある機器を接続したネットワークのことです。
  ホームネットワークにパソコンやHDD&DVDレコーダー、テレビを接続すると、接続した機器に保存されている映像・画像・音楽コンテンツを楽しむことができます。

9 レグザリンクを使う —HDMI 連動—

＊HDMI 端子モデルのみ

1 レグザリンクとは

レグザリンクを使うと、東芝製液晶テレビ「レグザ*1」に接続している外部機器を、レグザに付属のリモコンで操作することができます。

＊1 レグザリンクに対応しているレグザのみ

*各機器に対応しているレグザのみ

メモ

- レグザリンクについては、『レグザに付属の取扱説明書』と「11-7 レグザリンクについて」をよくお読みください。
- レグザリンクに対応している機種の最新情報は、次のホームページで確認してください。
  URL：http://www.toshiba.co.jp/digital/regzalink/

本製品で使用できる機能について

レグザが対応している外部機器との接続方法は、HDMI、ネットワーク（LAN）、USBの3種類あります。

参照 対応している外部機器『レグザに付属の取扱説明書』

本製品では、HDMIケーブルを使った接続によるレグザリンク（HDMI連動）により、次のアプリケーションをレグザに付属のリモコンで操作して、映像を再生することができます。

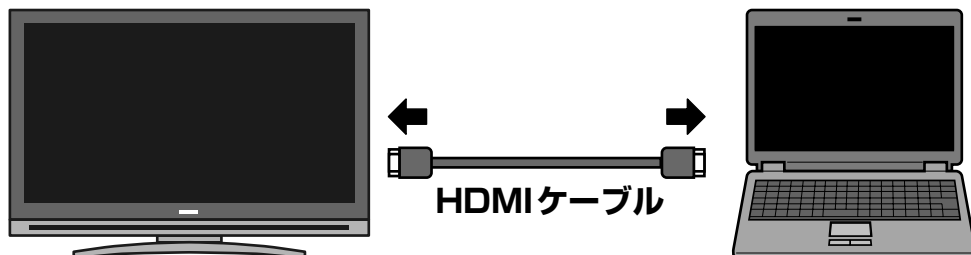
- TOSHIBA DVD PLAYER
- TOSHIBA Net Movie Player *1
- Windows Media Center
- WinDVD BD for TOSHIBA *2

＊1 Core 2 モデルのみ
＊2 ブルーレイディスクドライブモデルのみ

各アプリケーションの操作方法については、本書の説明や各ヘルプを参照してください。
レグザのリモコンの操作方法については、『レグザに付属の取扱説明書』を参照してください。
ここでは、レグザリンクを使った操作方法を紹介します。

2 レグザリンクの操作方法

レグザリンクを使うには、次のようにパソコン本体とレグザを設定してください。

①パソコン本体とレグザリンクに対応したレグザをHDMIケーブルで接続する

参照 HDMIケーブルでの接続方法について
『レグザに付属の取扱説明書』
『いろいろな機能を使おう』

②接続したレグザの主電源を入れる

接続したレグザの主電源を切っていると、レグザリンクが使えません。
必ず、レグザの主電源を入れてください。

③パソコン本体の電源を入れる

④デスクトップ上の［HDMI出力］アイコン（ HDMI出力 ）をダブルクリックする

レグザの電源がオンになり、パソコンのデスクトップ画面がテレビに表示されます。

すでに「TOSHIBA Flash Cards」などで表示装置を「HDMI」に設定している場合は、手順④の操作を行うと、本体液晶ディスプレイにだけ表示する設定に戻ります。再度、デスクトップ上の［HDMI出力］アイコン（ HDMI出力 ）をダブルクリックするか、FN＋F5キーを押して、表示装置を切り替えてください。

10 「ひかりTV」で映像を楽しむ

＊ TXシリーズ、AXWシリーズ、CXシリーズ、CXWシリーズ、EXシリーズの、
Core 2 モデルのみ

本製品は、NTTの光回線を利用して、多チャンネルのテレビサービスやビデオ・オン・デマンドのサービスを提供する「ひかりTV」に対応しています。ドラマやアニメチャンネルをはじめ、お好きなビデオタイトルなどを楽しむことができます。
「ひかりTV」のご利用には、（株）NTTぷらら、（株）アイキャストとの契約およびNTT東日本・NTT西日本のフレッツ光回線のご契約が必要となります。
また、本製品で「ひかりTV」をご利用いただくには、専用アプリケーション
「TOSHIBA（トウシバ） Net（ネット） Movie（ムービー） Player（プレーヤー）」のインストールが必要です。
詳しくは、次の手順で表示される画面を確認してください。

1 デスクトップ上の［「ひかりTV」サービスのご案内］アイコン（）をダブルクリックする

「ひかりTV」のご案内画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

「TOSHIBA Net Movie Player」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

11 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 DVDの再生にあたって

本項では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-VideoフォーマットまたはDVD-VRフォーマットで記録されたディスクを示します。

- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- 家庭用DVDレコーダーで録画した、ファイナライズされていないDVDはパソコンで再生できない場合があります。
- DVDの再生には、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を起動し、DVDを再生してください。
- DVD再生ソフト「TOSHIBA DVD PLAYER」では、DVD-VideoとDVD-VRの再生ができます。Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD再生時は、ACアダプターの接続をおすすめします。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリー駆動で再生するときは電源プランで「高パフォーマンス」を選択してください。
- DVDを再生する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。また、再生中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」の起動中は、スリープ、休止状態を実行しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」の起動中は、コンピューターのロック状態に移行する操作（[Windows]＋[L]キーまたは[FN]＋[F1]キーを押す）をしないでください。
- Region（リージョン）コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。
  出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示設定でDVDを再生することはできません。

  参照 表示装置の切替え『いろいろな機能を使おう』

- 拡張表示（Extended Desktop）でDVDを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてご使用ください。

その他の注意については、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプに記載しています。
「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプの起動は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ］をクリックしてください。

2 ブルーレイディスクの再生にあたって

- ブルーレイディスクを再生する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。また、再生中にはほかのアプリケーションを起動させたり、ほかの操作は行わないでください。正常な再生ができない場合や再生が停止する場合があります。
- 使用するブルーレイディスクのタイトルによっては、コマ落ち、音飛びおよび映像と音声の同期ずれが発生する場合があります。
- 本製品のブルーレイディスク再生機能は著作権保護技術AACS（Advanced Access Content System）に対応しています。ブルーレイディスクを継続的にお楽しみいただくためには、本機に含まれているAACSキーの更新が必要となります。なお、更新の際にはインターネット接続が必要です。
- 購入から5年間は無料でAACSキーを更新いただけます。5年を超えての更新につきましては、本ソフトウェアプロバイダであるコーレル株式会社の定める条件によります。
- AACSについてのより詳しい情報については、AACS LAのウェブサイト（http://www.aacsla.com/jp/home）をご覧ください。
- 「WinDVD BD for TOSHIBA」で再生している映像を外部ディスプレイやテレビでご覧になるには、RGB入力端子や、HDCP対応のHDMI入力端子のあるディスプレイやテレビが必要です。
- ブルーレイディスク再生時は、必ずACアダプターを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
- ブルーレイディスクの映像は、本体液晶ディスプレイまたはRGBコネクタ、HDMI出力端子に接続したテレビのみに表示できます。また、本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビへの同時表示（クローン表示、デュアルビュー（DualView）表示）はできません。
- ブルーレイディスク再生機能はコンテンツ内蔵のプログラムに従って作動しますので、コンテンツによって、操作方法、操作時の画面、効果音、アイコンなどの機能・動作は、それぞれ異なる場合があります。これらの詳細は、『コンテンツに付属の説明書』を参照するか、発売メーカーに直接お問い合わせください。
- ブルーレイディスク再生ソフト「WinDVD BD for TOSHIBA」は、ブルーレイディスク再生専用です。DVDの再生はサポートしていません。
- BD-Jタイトルでは、「WinDVD BD for TOSHIBA」のショートカットキーが使用できません。
- BD-Jタイトルでは、レジューム再生機能が使用できません。
- ビデオ表示ウィンドウをWindows 7 Aero Snapの領域にドラッグすると、黒画面になります。
- 特定地域向けのタイトルを初めて再生する際に、リージョン設定をする必要があります。初回設定後は、4回まで変更することが可能です。

3 メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

CD／DVD／ブルーレイディスクへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込み／書き出しに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込み／書き出しに失敗することがあります。

■記録メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって

- バッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプターを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、電源オフ／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。

参照 省電力の設定について《パソコンで見るマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・音楽CD／DVD／ブルーレイディスクの再生アプリケーション
  - ・スクリーンセーバー
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・モデムなどの通信アプリケーション　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザーを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  USB対応機器、テレビ、外部ディスプレイ、SDメモリカード、SDHCメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、ExpressCard、光デジタル対応機器、マイク入力端子に接続する機器
- パソコン本体から、携帯電話およびほかの無線通信装置を離してください。
- SDメモリカード、SDHCメモリカード、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- CD／DVD／ブルーレイディスクに書き込みを行うときは、市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
- CD／DVD／ブルーレイディスクに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応し、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーの記録メディアを使用してください。

■作成したDVDについて

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダーやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれの記録メディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。
- AVCHDフォーマットで作成したDVDは、AVCHDフォーマットの再生に対応した機器で再生してください。
- AVCHDフォーマットで作成したDVDを本製品で再生するときは、「WinDVD BD for TOSHIBA」を使用してください。

■作成したブルーレイディスクについて

- 作成したブルーレイディスクは、一部の家庭用ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクレコーダーやパソコンでは再生できないこともあります。
- 作成したブルーレイディスクを本製品で再生するときは、「WinDVD BD for TOSHIBA」を使用してください。その他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVD／ブルーレイディスクに書き込む前に

- DVD／ブルーレイディスクに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠した記録メディアを使用してください。また、推奨するメーカーの記録メディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨される記録メディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「DVD MovieWriter」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

4 「DVD MovieWriter」の使用にあたって

- 「DVD MovieWriter」はコンピューターの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中はほかのアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護されたコンテンツの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「DVD MovieWriter」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- 「DVD MovieWriter」では、ソース（映像ファイル）のビットレートによっては、1枚に圧縮できない場合があります。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVD／ブルーレイディスクへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVD／ブルーレイディスクに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。
- ［Corel Label@Once］画面でのDVD／ブルーレイディスクラベルの作成は、必ずレーベル面に直接印刷できるプリンターと記録メディアをご利用ください。市販のラベルシールを貼付したDVD／ブルーレイディスクをご利用になると、ドライブの故障の原因になります。市販のラベルシールは使用しないでください。
- TXシリーズ、AXWシリーズのみ、「DVD MovieWriter」には、映像ファイルを出力する機能がありますが、出力できる形式「MP4」のファイルについて、本製品の映像を再生するアプリケーションでは再生ができません。
  形式「MP4」のファイルを再生したい場合は、「QuickTime」などの「MP4」を再生できるアプリケーションを用意して、インストールしてください。

5 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

使用できるメディアについては、『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」にあてはまる部分をご覧ください。

- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-VR、DVD-Audioを作成することはできません。
- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAM、ブルーレイディスクにデータを書き込むことはできません。

■データCD／DVDを作るにあたって

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

  ①「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、[データCD/DVD作成]をクリックする

  ②[ディスク作成モードの設定ダイアログ]ボタン（ ）をクリックする

  [データCD/DVD設定]画面が表示されます。

  ③[データチェック]の[書き込み後にデータをチェックする]と[詳細チェック]をチェックする

  ④[OK]ボタンをクリックする

6 「Windows Media Center」の使用にあたって

- 「Windows Media Center」を起動する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。起動中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

7 レグザリンクについて

- レグザと本製品が正しく接続されているにも関わらず、レグザに付属のリモコンから本製品の操作ができない場合は、一度本製品を再起動し、HDMIケーブルをはずしてから、つなぎなおしてください。

レグザからパソコン本体の電源を操作するには

- レグザから操作して、本製品の電源を入れたり切ったりすることができます。

  ①[スタート]ボタン（ ）→[すべてのプログラム]→[TOSHIBA]→[ユーティリティ]→[HDMI連動設定]をクリックする

  [HDMI連動設定]画面が表示されます。

  ②機能を有効にする場合は、[HDMI連動を有効にする]と[HDMI連動対応のテレビから本機の電源のオン、オフをできるようにする]をチェックする

  機能を使わない場合は、チェックをはずしてください。

  ③[OK]ボタンをクリックする

パスワードの入力について

- パスワードの入力を求められた場合は、レグザからパスワードを入力することはできません。

参照 Windows ログオンパスワードについて
『Windows ヘルプとサポート』
《パソコンで見るマニュアル（検索）：Windows ログオンパスワード》

さくいん

この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。
アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。
　技術相談窓口受付時間：9：00〜19：00（年中無休）
　修理相談窓口受付時間：9：00〜22：00（年末年始12/31〜1/3を除く）

▼インターネットで修理のお申し込み
http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
　東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000Q3110
Printed in China